

2021 第1回名大模試 採点基準 英語

配点表				
大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	1	客観	3×4	60
	2	記述	10	
	3	客観	3×2	
	4	記述	10	
	5	客観	4×3	
	6	記述	10	
II	1	客観	3×4	60
	2	記述	10×2	
	3	記述	14	
	4	客観	4	
	5	客観	5×2	
III	1	客観	4	44
	2	客観	3×2	
	3	客観	4	
	4	客観	2×5	
	5	客観	3	
	6	客観	3	
	7	記述	14	
IV		記述		36
合計			200	

大問 I

1 12点 (3点×4) 解答 (F) (D) (A) (B)

3 6点 (3点×2) 解答 (あ) B (い) B

5 12点 (4点×3) 解答 [か] (C) [き] (A) [く] (F)

2. 下線部和訳 (10点)

〈解答例〉しかし、人間とオオカミの関係を歴史を通して見返すと、狩猟仮説、つまり人間がオオカミを狩りに使ったのだということは、説得力を欠く。

【下線部】

But when we look back at our relationship with wolves throughout history, the hunting hypothesis, that humans used wolves to hunt, doesn't hold up.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
<p>① <u>But when we look back at our relationship with wolves throughout history,</u></p> <p>しかし、人間とオオカミの関係を歴史を通して見返すと、</p>	5点	<p>1. look back at の該当訳 *back が反映され, throughout history と意味がつかねれば OK。</p> <p>2. our の該当訳</p> <p>3. relationship の該当訳</p> <p>4. throughout の許容例 ※「副詞句」「形容詞句」どちらに訳出しても可。</p>
<p>② <u>the hunting hypothesis, that humans used wolves to hunt, doesn't hold up</u></p> <p>狩猟仮説、つまり人間がオオカミを狩りに使ったのだということは、説得力を欠く</p>	5点	<p>1. the を「その」と訳出したものは許容。</p> <p>2. hunting のカタカナ訳は許容。</p> <p>3. hypothesis のカタカナ訳は不可</p> <p>4. that ... 節は, hunting hypothesis への補足説明だと分からないものは不可</p> <p>5. doesn't hold up の許容例 ※「正しさへの否定」と類推できていれば広く許容</p>
<p>語句レベルの誤訳と欠如、ケアレスミスは原則各 (-1)</p> <p>文構造レベルの誤訳は各 (-2)</p> <p>※「オオカミ」は漢字またはひらがな表記も可</p>		

4. 内容説明 (10点)

〈設問指示〉 下線部(2)の **“this”** の指す内容を、本文に即して 60 字以内の日本語で具体的に説明しなさい。数字または記号を記入する場合は、ひとつにつき 1 マスを使用すること。

〈解答例〉 食糧が乏しい際には、狩りに役立たないイヌが部族や役立つイヌの生存を守るために非常食として犠牲にされていたということ。(58字)

【解答参考箇所】 And finally, though this is not a pleasant thought, when times were tough, dogs could have served as an emergency food supply. With no crops to store, hunter-gatherers had no food reserves until the domestication of dogs. In tough times, dogs that were the least efficient hunters might have been sacrificed to save the group or the best hunting dogs. (最後になるが、これは愉快的な考えではないのだが、厳しい時期には、イヌは非常の場合の食糧の供給源としての役割を果たしていた可能性がある。貯蔵すべき作物がまったくなく、狩猟採集民はイヌを飼うようになるまで食糧の貯えがなかった。苦しい時期には、最も狩猟に役立たないイヌは、部族や狩りに最も役立つイヌを救うために犠牲とされた可能性がある。)

●次の①～④の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
① 2点 <u>when times were tough / With no crops to store, hunter-gatherers had no food reserves until the domestication of dogs / In tough times</u> を利用した内容 ⇒ 「食料不足[飢饉]の時」に相当する内容をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・「食料不足[飢饉]」にあたる表現がなければ(−2) ※times were tough / tough times の直訳は(−2)
② 2点 <u>dogs that were the least efficient hunters</u> を利用した内容 ⇒ 「狩りに(最も)役に立たないイヌ」に相当する内容をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・「狩り」の欠如は(−1) ・「役に立たない[能力が低い]」の欠如は(−1) ・ efficient を「能率」としたものは(−1)
③ 3点 <u>dogs could have served as an emergency food supply / have been sacrificed to save</u> を利用した内容 ⇒ 「非常食として犠牲にされた[食べられた]」に相当する内容をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・「非常食(いざという時の食糧)」の相当内容の欠如は(−1) ・「犠牲にされた[食べられた]」の欠如は(−2)
④ 3点 <u>to save the group or the best hunting dogs</u> ⇒ 「部族や役立つイヌの生存を守るために」に相当する内容をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・「守る[救う]」の欠如は(−1) ・「部族[集団, 村]」の欠如は(−1) ※「飼い主」「狩人」も許容 ・「(最も) (狩りに) 役立つイヌ」の欠如は(−2)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは原則各 (−1) 文構造レベルの誤訳は各 (−2) ・ 語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使用の指示無視は一カ所につき(−1) ※「イヌ」は漢字またはひらがな表記も可 	

6. 自由英作文 (10点)

〈設問指示〉 イヌを飼うことで人間が得ることができる利点として、本文で述べられている以外のことを1つ、英語20—30語で述べなさい。解答欄の末尾に単語数を記入すること。

〈解答例〉 Another benefit we get from keeping dogs is that we can live a lively life by communicating with them even if we have nobody to talk to. [[27 words]

項目・配点	具体事例
利点の内容(10点)	1. 本文で既に述べられているものは(−10) ⇒不可例: 「狩」「番犬」への利用 ⇒許容例: 「散歩による飼い主の健康増進」「警察犬」「災害救助犬」「子供の情操教育」など 2. 「イヌ」は a/the dog / dogs いずれも可だが, the dogs は(−1) 3. 断定でも, 推理でも, どちらも可。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文法レベルの誤りとスペルミスは各(−1) 構文ミスは各(−2) ・ 語数指示の無視は0点 ★末尾に語数を記入していないものは(−2) 	

大問Ⅱ

1 12点 (3点×4) (1) (E) (2) (F) (3) (C) (4) (G)

4 (4点) (C)

5 10点 (5点×2) (B) (D) *順不同

2. 内容説明 (10点) × 2

〈設問指示〉 下線部 (あ) の “that” について、以下の①と②に答えなさい。数字または記号を記入する場合は、1つにつき1マスを使用すること。

- ① that の指す内容を55字以内の日本語で説明しなさい。
- ② that にあたるものを通して開発されたものを45字以内の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉

- ① 回答者の性格テストの結果とフェイスブックでの「いいね」を照らし合わせ、両者の相互関係を解明した結果。(50字)
- ② 調査に参加しなかった人々に関する詳細を、「いいね」だけから割り出すアルゴリズム。(40字)

【解答参考箇所】

① By cross-referencing survey answers against their Facebook “likes,” Kosinski was able to work out the correlation between the two. (調査の答えを回答者たちのフェイスブックでの「いいね」と相互参照することで、コジンスキーは両者の相互関係を解き明かすことができた)

①次の(1)～(4)の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
2点 (1) <u>By cross-referencing</u> の説明	※cross-referencing をカタカナ読みで述べたものは不可
2点 (2) <u>work out</u> の訳出	
2点 (3) <u>the correlation</u> の訳出	※theを「その」と訳出したものは許容
4点 (4) <u>the two</u> の説明	<ul style="list-style-type: none"> •Facebook, “likes” の欠如各(−1) ※「 」の有無は不問 •survey, answers の欠如各(−1)
<ul style="list-style-type: none"> • 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは原則各 (−1) 文構造レベルの誤訳は各 (−2) • 語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(−1) 	

2. 内容説明 (10点) × 2

〈設問指示〉 下線部 (あ) の “that” について、以下の①と②に答えなさい。数字または記号を記入する場合は、1つにつき1マスを使用すること。

- ① that の指す内容を55字以内の日本語で説明しなさい。
- ② that にあたるものを通して開発されたものを45字以内の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉

- ① 回答者の性格テストの結果とフェイスブックでの「いいね」を照らし合わせ、両者の相互関係を解明した結果。(50字)
- ② 調査に参加しなかった人々に関する詳細を、「いいね」だけから割り出すアルゴリズム。(40字)

【解答参考箇所】

② From that he created an algorithm that could determine, from “likes” alone, accurate details of millions of other users who hadn’t taken the survey. (それを基に、「いいね」のみを用いて、その調査に参加しなかった他の何百万というフェイスブックユーザーの正確な詳細を割り出すことができるアルゴリズムを彼は開発した)

②次の(1)～(4)の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	盛り込むべき内容
2点 (1) <u>algorithm</u>	※コンピューターは不可
2点 (2) <u>from “likes” alone</u>	•alone 欠如(−1) •likes 欠如(−1)
3点 (3) <u>that could determine accurate details of</u>	•could は「できる」「できた」どちらも可。 •determine →×自覚する (−1) •accurate details →accurate は、determine の訳で「正しさ」が示唆されていれば、訳出不要。 →details のカタカナ訳は(−1)
3点 (4) <u>millions of other users who hadn’t taken the survey</u>	• millions of の訳出は不問。 ※「多くの」も可。 • who 以下が述べられていれば、other の訳出は不問 • who 以下の欠如は (−2)
・ 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (−1) 文構造レベルの誤訳は各 (−2) ・ 語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使いの指示無視は一カ所につき(−1)	

3. 和訳 (14点)

〈解答例〉 はるかに驚嘆すべきことには、そのアルゴリズムは、私が宗教的ではないが、(仮に) 宗教を信じているとすればカトリックであろうとも判断していた。実を言えば、私は8歳から18歳までカトリック系の学校に通っており、宗教に愛着がある一方で、実際に忠実に教会通いをしているわけではない。

【下線部】 Far more amazingly, it also determined that I was not religious, but that if I were, I'd be Catholic. To tell the truth, I went to a Catholic school aged 8–18, and while I have a soft spot for the religion, I am no practicing churchgoer.

● 次の区分に分けて配点する。

区分	配点	具体事例
① <u>Far more surprisingly</u> はるかに驚嘆すべきことには	2点	1. Far の強調が訳されていなければ (-1) →○ さらにずっと驚くべきことだが 2. 文修飾の副詞句として訳されていなければ(-1)
② <u>it also determined that I was not religious</u> そのアルゴリズムは、私が宗教的ではないとも判断していた	2点	1. it の具体化は不問だが、誤った指示対象で具体化したものは不可。 2. determine →×決めつける(-1) 3. also 訳漏れは(-1) 4. was は現在形に訳しても可。 5. religious →×聖職者で(-1)
③ <u>but that if I were, I'd be Catholic.</u> しかし (仮に) 宗教を信じているとすればカトリックであろうと	3点	1. determined と that のつながりが読み取れていないと(-2) 2. were のあとの religious の省略が読み取れていないと(-2) 3. Cathoric は「カトリック」「カソリック」どちらも可。 →「旧教」は許容。 4. were を仮定法過去と見抜かず、「だったとしたら」と単純過去で訳したものは(-1)
④ <u>To tell the truth,</u> 実を言えば	1点	
⑤ <u>I went to a Catholic school aged 8–18,</u> 私は8歳から18歳までカトリック系の学校に通っており	2点	
⑥ <u>and while I have a soft spot for the religion, I am no practicing churchgoer.</u> 宗教に愛着がある一方で、実際に忠実に教会通いをしているわけではない。	4点	1. have a soft spot for は「好意」「興味」どちらかのニュアンスが捉えられていないと(-1) 2. the religion は「宗教」「その宗教」「キリスト教」「カトリック」いずれも可。 3. practicing は「習慣」「実行」「まじめ」「敬虔」いずれかのニュアンスが捉えられていないと(-1) 4. churchgoer は「礼拝者」「教会通いをする人」等に訳出しても可。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句レベルの誤読と欠如、ケアレスミスは一律各 (-1) 文構造レベルの誤訳は各 (-2) ・ 語数指示の無視は0点。数字と記号のマス使用の指示無視は一カ所につき(-1) 		

大問Ⅲ

- 1 4点 解答 (D)
- 2 6点(3点×2) 解答 (B)(D)
- 3 4点 解答 (B)
- 4 10点(2点×5) 解答 (ア) (E) (イ) (B) (ウ) (G) (エ) (H) (オ) (I)
- 5 3点 解答 (C)
- 6 3点 解答 (D)

7(14点)

<設問指示> What do you think about smelling rosemary essential oil while you are taking an entrance examination? Explain your response using between 30 and 40 English words. (Indicate the number of words you have written at the end of the composition.)

(解答例) I don't think I should depend on rosemary essential oil because using it during the exam is a kind of doping, which will make me feel guilty for the rest of my life even if I gain admission [38 words]

●次の①, ②の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
① 立場の明示 (2点)	<p>1. I think や In my opinion などの「導入」なしでは是非の意見が述べられていても可。</p> <p>2. I (don't) think <u>so</u> など, What do you think という設問指示とかみあわないものは不可</p> <p>3. smelling rosemary essential oil は using the oil [it] も可。</p> <p>4. while you are taking an entrance examination は, 設問の前提条件なので, ここで改めて述べなくても可。</p> <p>5. オイルを使う主語は I, we いずれも可。</p>
② 立場への説明 (12点)	<p>1. 受験会場 (試験中) という設定と矛盾するものは不可</p> <p>2. 会話中の事実と矛盾するものは不可 (例) × 副作用がある</p> <p>3. 「道徳性」「合理性」どちらの観点から述べても可。 <許容例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験の準備をしている時期に使わないと手遅れ ・試験官に怪しまれるから ・周囲の受験者にも影響を与えるから など
<p>・文法レベルの誤りとスペルミスは各 (-1) 構文ミスは各 (-2)</p> <p>★末尾に語数を記入していないものは (-2)</p>	

大問Ⅳ 自由作文 (36点)

〈問題部分〉 Table A shows the transportation choices of the residents of large cities, small or mid-sized cities, and towns or villages in Japan in 2019. Table B analyzes the data in terms of respondents' ages. Describe more than one result you observe from reading the tables. You must refer to both of the tables. In addition, explain a possible reason for each result that you write about. Write approximately 80—100 words. (Indicate the number of words you have written at the end of the composition.)

The Questions Given to the Respondents

- How many times per week do you use a train or bus?
- If you seldom use them, what transportation means do you usually depend on?

〈解答例①〉 Table A shows that dependence on public transportation tends to increase in proportion to the size of the community where the respondents live. The probable reason is that it is difficult to avoid traffic jams in cities during the commuting hours and the commuters tend to depend on trains. According to the second table, people over 64 years old tend to stop their daily use of public transportation. The reason is probably that the majority of elderly people have left their jobs and do not need to commute any longer [90 words]

〈解答例②〉 Table A shows that the people living in towns or villages are far less dependent on public transportation than city dwellers. I think the reason is that more and more rail and bus services in rural areas have been abandoned over the years and the residents have become required to depend on automobiles. Table B shows that the elderly people tend to feel hesitant to drive after they turn 65 years old. The probable reason is that they are afraid of being involved in accidents while they are driving [89 words]

★許容される分析は以下が挙げられます。

Table A

- < 1 > 公共交通機関 (バス, 電車) の使用頻度は, 居住地の人口と比例。
- < 2 > 自動車の使用率[頻度]は, 居住地の人口と反比例。

Table B

- < 1 > 65 歳から, 公共交通機関 (バス, 電車) をほぼ毎日使う者が激減。
- < 2 > 65 歳から, 公共交通機関 (バス, 電車) を週数回使う者が激増。
- < 3 > 65 歳から, 自動車運転をしなくなる傾向が強い。
- < 4 > 65 歳から, 徒歩や自転車などに依存する者が急増。

※大差のない年齢層間を比較して「～より...が優る」などとしたものは, 採点表①(C)に該当します。

●次の①, ②の項目に相当する内容に得点を配分。

項目・配点	具体事例
① more than one result, refer to both of the tables の提示 (1 2点)	<p>【減点対象】</p> <p>(A) 1つしか述べていない</p> <p>(B) 2つ以上述べているが, 片方の表にしか言及していない</p> <p>(C) 表から導けない内容</p> <p>[例] 二つの表をパーセントではなく実数として比較したものや, ほとんど差のない事項を差があるとして述べたもの</p>
② Explain a possible reason for each result that you write about の説明 (2 4点)	<p>(A) 1項目に複数の理由が述べられていても許容</p> <p>(B) 内容点では「荒唐無稽」なもの「論理的にかみあわないもの」のみ、理由1つにつき減点</p> <p>(C) ①の結果の中で、ここで理由説明されていない場合は減点</p>

- 題意に全く合わないものは全配点を引く。
- 理由は「事実として断定」「類推」のどちらかで述べてもよい。
- 文法レベルの誤りとスペルミスは各 (-1) 構文ミスは各 (-2) 時制ミスは一カ所につき (-1)

★末尾に語数を記入していないものは (-2)